



遠野遺産

遠野遺産認定第76号 複合遺産(有形・自然) 2008年11月5日認定
所有者 多賀神社
推薦者 新町自治会



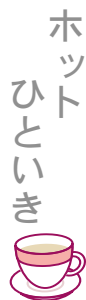
第16回
多賀神社と御神木

「遠野物語拾遺」第193話にキツネの話が伝えられる多賀神社。鳥居をくぐり長い石段を登ると、ひっそりと静まりかえった境内に巨大な杉とヒバのご神木が参拝者を迎えます。

創建年代は明らかではありませんが、一説には阿曾沼広郷が1574(天正2)年に横田城を鍋倉山に移した際に城の守り神として祭り、1647(正保4)年に南部直榮により再興されたといわれています。その後荒廃しましたが、1901(明治34)年に新町の有志によって再建されました。現在は住民により清掃活動などが行われ、紫陽花の名所としても親しまれています。

MEMO

- 住 遠野町5地割87番地
- 交 JR遠野駅より徒歩15分
- 問 遠野地区センター(☎@4411)



ホット ひといき

ゾツとする話◆子どものころカプトムシが大好きだった僕は「大きな木にはたくさん集まるかも」と思い、ある日の夜、近所の木を巡回。数カ所回ったところで、黒いつやつやした虫がたくさんいるのを発見しました◆「やった!」とばかり網でゲット。喜び勇んで電灯を照らすと、そこにはたくさんゴキブリがうごめいていました。(小森)

朝はラジオ体操、昼はプール道具片手に帰宅する小学生の姿に「夏休み」を実感◆いつも予定通りに宿題が終わらず、最終日は泣きそをかわいて励んだ苦い思い出ばかりです◆どうの昔に卒業したのに、今でも目の前には「宿題」が山積み。中には二月からの懸念事項も。関係者の皆さん、すみません。この夏にはさっと片付けます。(馬場)